

Agriculture

農

北上市和賀町

あきちゃん農園



高橋 アキ子 代表 野島 秀友 さん

野島さん「3、4年前からSNSで農福連携に関する情報を目にし、ピーマンの軸切り作業を委託している事例があると知りました。今年2月に参加したJAの冬期支店座談会で質問したところ、その月のうちにJA・岩手県社会福祉協議会・県の担当の方々と話し合いの場を設けていただきました。」

Q 農福連携に取り組む経緯を教えてください。

高橋さん「令和元年に本格就農しました。ハウス3棟と露地を合わせて約80aで8000株のピーマンを育てていて、今後も規模拡大を見据えています。普段は常勤とパートさん合わせて5、6名、収穫ピーク時は10名ほどが畑で作業しています。」

Q あきちゃん農園について教えてください。



Q 工賃はどのように決めていますか？

野島さん「事業所さんと協議の上、出来高制としています。農園で働いているパートさんが1ケース分の軸切りを終えるスピードを元に金額を算出しています。」

その後、利用者さんに作業を体験してもらい、「ぜひやりたい」というお返事をいただきました。手が空く冬期間に話を進めておいたおかげで、収穫期にスムーズに業務を委託することができました。

高橋さん「作付面積を拡大していく中で、収穫に割く時間と人員の確保が難しくなっていました。午前は収穫、午後は軸切り・選別に追われて、作業終了が日付を超えることもしょっちゅうでした。健康的にも良くないですね。(笑)軸切り作業だけでもお任せして、空いた時間を収穫に充てたいと思いました。」



軸切り作業が終わったピーマンは、野島さんと利用者の方が協力してトラックの荷台に積み込んでいきます。



あきちゃん農園で働く皆さん。花巻市出身の芸人「よこっちピーマン」さん(写真右)も、令和3年から農園で汗を流しています。

* 農福連携に関心がある方は、

JAいわて花巻が運営する無料職業紹介所「アグリワーク」では、求人者と求職者の雇用関係が成立するよう紹介やサポートを行い、組合員の農業生産活動を支援しています。人材確保の形が多様化する中で「農福連携」にも一層力を注ぎ、生産増大・所得向上へと繋がる取り組みを強化してまいります。関心のある方は、ぜひアグリワークまでご相談ください！

JAにご相談ください*

無料職業紹介所

アグリワーク

TEL 0198-29-5871
FAX 0198-24-0621

花巻市野田335-2
JAいわて花巻営農部事務所内



アグリワークの事業はホームページでもご紹介しています！

Welfare

福

社会福祉法人
白ゆり共生会

ワークステーションきたかみ

お話を伺いました！



高橋 友恵 指導員 今野 由美子 施設長

Q ワークステーションきたかみについて教えてください。

今野さん「私たちは就労継続支援B型作業所として、利用者の皆さんが自分のペースで働けるよう、農作業や軽作業などの仕事を提供しています。」

Q どのような作業を担っているのですか？

高橋さん「利用者さんが担当しているのはピーマンのへたを切り落とす作業で、私たちは『軸切り』と呼んでいます。朝9時30分から作業を始め、日によって増減はあるものの、約50コンテナを5、6人で捌いています。年代は20代から60代まで幅広いです。」

Q 皆さんの仕事の様子はどうですか？



Q 良かった点はどんなところですか？

高橋さん「利用者さんは、一つの作業でも集中力を切らずに丁寧に進めることが得意な方々です。複数の



力を込めなくてもスムーズに軸を切り落とすことができる専用ハサミは、あきちゃん農園が用意。手首を痛めず作業することができます。

作業ではなく「軸を切る」という一点に専念でき、専門的な技術も必要ありませんので、それがすごく良かったです。」

今野さん「このぐらいの量はお願いしたい」といった期待をいただくこともありますが、納期のある仕事も並行して進めているため、すべてのご要望に完璧に応えるのが難しいこともあります。あきちゃん農園さんからは『できるぐらいで良いですよ』とお声がけいただいており、焦ったり緊張したりすることなく、作業に取り組むことができています。」

今野さん「作業について『利用者さんがこまめならでできるだろう』という認識を、農家さんと私たちとですり合わせるところが難しいポイントです。あきちゃん農園さんにはそこをご理解いただき、来年以降も継続して契約を結んでいただくことになったので、大変ありがたく思っています。」



ワークステーションきたかみで軸切りを担当している利用者の方々。あきちゃん農園から預かったピーマン1つ1つを大切に、作業に取り組んでいます。